

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルブーク放課後等デイサービス たんぼぼハウス			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年 3月 31日 ～ 2025年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月、活動プログラムを設定し、いろんな活動ができるよう工夫しています。月2回、臨床美術プログラムも行っています。大阪府下で臨床美術プログラムを行っているのは、たんぼぼハウスとたんぼぼクラブのみです。	偏った取り組みにならないよう、いろんなジャンルのプログラム設定に努めています。	全ての利用者様にいろんなジャンルに取り組んでいただけるよう、個別支援にも力を入れていきたいと考えています。
2	同じ法人内で生活介護事業（たんぼぼライフ）も運営しており、卒業後の進路を見据えた切れ目のない支援体制を整えています。子どもたちの現在だけでなく、将来の社会生活を見据えた一貫した支援が可能です。	放課後等デイサービス卒業後も見据え、早期から生活介護事業の見学や交流の機会を設け、進路選択への不安軽減に努めています。	生活介護事業（たんぼぼライフ）との連携をさらに強化し、実際の利用者交流や体験プログラムを定期的の実施していきます。
3	日々の活動の様子をブログで発信し、保護者への情報提供と児童の活動意欲向上に努めています。	ご家族と日々の活動を詳細に共有することに努め、利用者様の様子をお伝えしています。	見逃しがちな小さな出来事もお伝えすることで、少しの成長も共有・共感できるよう細やかな支援を心がけていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の内部研修の機会が少なく、支援の質の向上や共通理解を深める場が十分に確保できていないこと。	外部研修に比べ、内部研修の必要性が見えにくくなっている。日々の業務に追われ、職員が集まる時間を確保しにくい	定期的に研修日を設定し、スケジュール上確保する仕組みをつくる。 児童の支援場面を振り返る「ケース会議型の学び」を定期的に導入する。
2			
3			